

フィリピン共和国家族計画・母子保健プロジェクト
終了時評価調査団報告書
フィリピン共和国家族計画・母子保健プロジェクト(Ⅱ)
事前調査団報告書

平成 8 年 8 月

国際協力事業団
医療協力部

序 文

人口問題は開発途上国の食料不足、雇用、都市のスラム化、環境の悪化等の問題を引き起こし、開発途上国に暮らす人々の脅威となっています。このような状況に対応するため、わが国は地球規模問題(GII)の一環として、人口・母子保健問題に積極的に取り組んでいく方針を打ち出しています。

人口家族計画分野では、旧来ややもすれば家族計画の普及に主眼が置かれがちでした。しかし、今日ではそれにとどまらず、開発途上国において人口増加の根本的原因となっている乳幼児や母親の周産期における高い死亡率、劣悪な公衆衛生環境、女性の地位、貧困等についても適切な対策をとることが重要とされています。

わが国は、フィリピン共和国をGII人口分野協力の重点国と位置づけ、支援を重ねています。当事業団では、平成4年4月から同国中部ルソン地域タラック州をモデル地区に設定し実施してきました第1期協力が大きな成果をあげつつあることから、その成果をより広範な地域に波及・定着させるために、今般フィリピン共和国政府の要請を受け、第2期協力を視野に入れた評価兼事前調査を実施しました。

本報告書は、国立公衆衛生院公衆衛生行政学部長中原俊隆氏を団長として、平成8年8月11日から8月20日まで派遣しました同調査団の調査結果を取りまとめたものです。

ここに、本調査にご協力を賜りました関係各位に深甚なる感謝の意を表しますとともに、今後とも本件技術協力の成功のために、いっそうのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます次第です。

平成8年8月

国際協力事業団

理事 小澤大二

目 次

序 文

I. 終了時評価調査団

1. 終了時評価調査団の派遣	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	1
1-3 調査日程	2
1-4 主要面談者	3
2. 総 括	5
3. プロジェクトの当初計画と活動実績・評価	7
3-1 プロジェクトの目的	7
3-2 実施計画と活動実績・評価	7
3-3 今後の課題	12

附属資料

① 合同評価報告書 (JOINT EVALUATION REPORT)	13
---	----

II. 事前調査団

1. 事前調査団の派遣	41
1-1 調査団派遣の経緯と目的	41
1-2 調査団の構成	42
1-3 調査日程	42
1-4 主要面談者	42
2. 総 括	43
3. 要請の内容	45
3-1 先方プロジェクト案	45

4. 保健セクター開発計画	47
4-1 保健省の組織	47
4-2 国家保健開発計画の概要	48
4-3 保健省の予算	49
5. 家族計画・母子保健分野の現状と問題点	52
6. 日本の保健医療分野協力状況	56
7. プロジェクト実施計画	58
7-1 協力の方針	58
7-2 実施計画概要	58
8. 相手国側との協議内容	61
9. 専門家の生活環境	62
9-1 概要	62
9-2 住宅	62
9-3 食生活	63
9-4 衣料品	63
9-5 電気、水道等	64
9-6 医療	64
10. 協力実施にあたっての留意事項	65
附属資料	
① ミニッツ (Minutes)	67
② フィリピンにおける公的医療サービスシステム	74

I. 終了時評価調査団

1. 終了時評価調査団の派遣

1-1 調査団派遣の経緯と目的

(1) プロジェクト形成の経緯

フィリピン共和国（以下、フィリピン）では本プロジェクトが実施される前にも、1981年から7年間にわたり家族計画プロジェクトが実施され、モデル地区（当初2地区、のちに11地区に拡大）における母乳利用率と避妊具利用率の増加、妊婦死亡率の減少等の成果をあげた。

フィリピン政府はその成果を踏まえ、地域保健活動のいっそうの活性化と母子保健サービスの改善を通じ、家族単位で住民の福祉を向上させ、ひいては同国の人口政策に資するプロジェクト方式技術協力をわが国に要請してきた。

本プロジェクトは、かかる同国政府の要請を受けて、数次の調査を経たうえで、1992年4月1日から5年間の協力期間で開始されたものである。

(2) プロジェクトの目的

本プロジェクトは、

- ① タラック州における家族計画・母子保健サービス提供体制の改善
- ② 住民参加の促進による地域保健活動の活性化
- ③ 家族計画・母子保健に携わる人員の能力向上

を通じて、タラック州における家族計画・母子保健活動を改善することを目的に実施されたものである。

1-2 調査団の構成

	担当	氏名	所属
団長	総括	中原 俊隆	国立公衆衛生院公衆衛生行政学部長
団員	地域保健	菅波 茂	アジア医師連絡協議会（AMDA）代表
団員	母子保健	曾根 啓一	自治医科大学公衆衛生学教室教授
団員	公衆衛生	安達 一彦	鹿児島県保健福祉部長
団員	協力計画	苗村 光廣	国際協力事業団医療協力部医療協力第一課長

1-3 調査日程

日順	月日	曜日	移動および業務
1	8月11日	日	13:10 マニラ着(中原団長、曾根団員)(JL741) 13:35 マニラ着(菅波団員)(TG621)
2	8月12日	月	9:00 JICA フィリピン事務所、日本大使館表敬 11:00 国家経済開発庁(NEDA)表敬 13:35 マニラ着(苗村団員)(TG621) 午後 保健省表敬(レオディカ大臣、ロベス公衆衛生担当次官補、インフアンタド次官補代行) 16:00 家族計画・母子保健プロジェクト事務所訪問
3	8月13日	火	7:00 タラックへ移動 9:00 タラック着 午前 州衛生局表敬(ラモス局長) 州病院、母子保健センターを調査/視察 午後 町保健所(Rural Health Unit: RHU)、村落保健所(Barangay Health Station: BHS)を調査/視察 (母子保健手帳、ドラッグリボルビングファンドの取り組みなど、プロジェクトのフィールド活動全般を調査) 13:35 マニラ着(安達団員)(TG621) 17:00 アンヘレス着 (プロジェクト専門家との打合せ)
4	8月14日	水	午前 リージョンⅢ地域事務所表敬(NEDA、内務自治省) 午後 リージョンⅢ地域事務所表敬/協議(保健省、リージョンⅢ各州の衛生局長) リージョンⅢフィールド調査(州病院、衛生局) (フェーズ2の調査。リージョンⅢを対象とすることの妥当性を総合的に調査)
5	8月15日	木	午前 リージョンⅢフィールド調査(RHU、BHS) 午後 リージョンⅢフィールド調査(RHU、BHS) (フェーズ2の調査。リージョンⅢを対象とする妥当性を総合的に調査) 夕方 マニラ着
6	8月16日	金	午前 保健省との協議 (評価のための協議。フィリピン側がプレゼンテーションを行い、その後双方で評価について協議) 午後 保健省との協議 (フェーズ2について、フィリピン側がプロポーザルを説明。それに基づき双方で協議) ミニッツ等署名交換 (大臣臨席のもと、評価報告書と事前調査ミニッツを署名交換) 16:30 マニラ→関空(菅波団員)(TG620)
7	8月17日	土	午前 専門家との打合せ
8	8月18日	日	資料整理
9	8月19日	月	9:00 UNFPA 表敬 10:00 USAID 表敬 (GII 案件として、日米協調を確認) 午後 JICA 事務所、日本大使館報告
10	8月20日	火	14:30 マニラ→成田(中原団長、曾根団員)(JL742) 16:30 マニラ→関空(安達団員)(TG620)

※苗村団員は、保健医療案件調査のため、23日(金)までフィリピンに滞在。

1-4 主要面談者

(1) フィリピン側関係者

1) 保健省 (Department of Health)

Dr. Carmencita Reodica	Secretary, Office of Health's Offices
Dr. Antonio S. Lopez	Assistant Secretary and Officer-in-Charge, Office for Public Health Services
Ms. Letcia Espinosa	Officer-in-Charge, Public Information and Health Education Services
Dr. Ricardo Trinidad	Regional Director, Regional Health Office No.3
Dr. Cecille Paulino	Assistant Regional Director, Regional Health Office No.3
Dr. Ricardo Ramos	Provincial Health Officer, Tarlac Provincial Health Office

2) 人口委員会 (Commission on Population)

Ms. Oscar Escobar	Deputy Executive Director
Ms. Grace Dino	Chief, Planning Division
Ms. Rose Marcelino	Regional Director, Region 3

3) 国家経済開発庁 (National Economic and Development Authorities: NEDA)

Mr. Rolando Tungpalan	Director, Project Monitoring Staff
Mr. Josefina Esguerra	Director, Project Investment Staff
Dr. Remigio Mercado	Regional Director, Regional Office No.3

4) フィリピン大学人口研究所 (University of Philippines, Population Institute)

Dr. Aurora E. Perez	Director
---------------------	----------

5) 国連人口基金 (UNFPA)

Mr. Satish Mehra	Country Representative
------------------	------------------------

6) 米国国際開発庁 (USAID)

Ms. Carol Carpenter-Yaman	Chief, Office of Public Health and Nutrition
---------------------------	--

(2) 日本側関係者

1) 在フィリピン日本国大使館

依田 紀彦	一等書記官
-------	-------

2) JICA フィリピン事務所

後藤 洋	所長
力石 寿郎	次長
岩崎 英二	所員

永井 真希	所員
3) プロジェクトチーム	
花田 恭	チーフアドバイザー
碓 賢治	調整員

2. 総 括

フィリピンにおける家族計画・母子保健プロジェクトは、1992年度からタラック州をプロジェクトサイトとして実施されてきているが、当初の2年間は業務調整員とIEC専門家の2名が派遣されたのみで、立ち上がりは非常に遅かったといえよう。しかし、この間に保健省およびタラック州のプロジェクト関係者と日本側との交流が円滑になされるための人間関係ができあがり、その後のプロジェクトの発展に大きく貢献したといえる。すなわち、3年目に2名の医師および1名の看護婦が専門家として着任したが、直ちに保健省およびプロジェクトサイトにとけ込めたのは、それ以前の2年間の地ならしがあったからこそ、ということができよう。また、看護専門家は国際協力に経験が長く、1年間の滞在であったが、着実な成果をあげ、また2名の医師は国際協力の経験こそ少ないが、若さと情熱により地域にとけ込んだ活動を展開したことは、十分評価に値する。4年目になって待望のリーダーが派遣され、これまでの活動に重厚さ、手堅さが加わり、フェーズ2を視野に入れた活動が展開されることとなった。最終年度である1996年度には、医師2名が交代し、新任IEC専門家が着任し、これまでの活動成果を継承しつつ、フェーズ2をにらんだ活動が実施されている。なお、短期専門家は随時派遣され、これらの専門家の活動を補完してきた。

また、このプロジェクトはフィリピンにおける行政改革の進行するなかで実施された。すなわち、1992年に新しい地方自治体法が施行され、中央集権体制から地方分権体制への移行が進められることとなった。保健行政は他の行政より遅れて1994年に実施されたが、幸いなことに、このプロジェクトはこの行政改革によって支障を受けることはあまりなかったといえる。保健省の意向はもちろん重要であるが、州保健局長や町長との調整が重みを増したことは間違いないところである。また、かつては家族計画に絶大な力をふるった人口委員会の権限が縮小され、家族計画および母子保健が保健省に一元化されたことは、プロジェクトの実施にあたって有利に働いたといえようが、一方では潜在的な力を温存している人口委員会の活用は今後の課題となろう。さらに、プロジェクトの後半になって、日米協調政策の影響や、カイロ国際人口開発会議や北京の世界女性会議等の影響を受けたが、いずれもこのプロジェクトの進行にはプラスに働いたといえる。

プロジェクトの内容は、地域に根ざした活動であり、そのため地域住民およびカウンターパートに非常に好評であったといえよう。その詳細は別項に譲ることとするが、医師、看護婦等の専門家が指導講習会等を開催するとともに、実際に現地へ赴き指導助言を行ったことは、草の根的な国際交流の場となり、現地カウンターパートの人づくりの場となったことはきわめて意義深いことであり、コミュニティ・ベース（community-based）の家族計画・母子保健活動が展開でき

たとえられる。さらに、タラック州立病院内に母子保健センターを建設したこと、母子健康手帳を作成し、母親学級等で活用したこと、また多数の IEC 教材を作成し、上映したこと等は、フィリピンの人々に目に見える援助を提供したものであり、非常に重要な成果といえよう。

さらに、本プロジェクトの特徴は、NGO 活動が大きな役割を担ったことである。すなわち、日本側では AMDA との協力がプロジェクト推進にあたって不可欠な条件であったし、フィリピン側では多く NGO が関与した活動が行われた。このことは、今後の国際協力活動において大きな注意を払うべき点であり、NGO の重要性を認識すべきである。

以上、総合的にみて本プロジェクトは、かなり満足度の高い成果を得ることができたものとして評価し得ると考えるが、地域に根ざした活動であるがゆえに、総合的なまとまりに欠けるとの評価もあり得る。たとえば、共同薬局プログラムは家族計画や母子保健とのかかわりが薄いとの評価もあり得ようが、フィリピンでは母子保健活動は予防接種、脱水症の予防、下痢性疾患の予防といったような小児の疾病対策に重点を置かざるを得ない衛生状態にあり、わが国のような健全な母子の発育発達をフォローする活動は母子保健の一部にすぎない状況がある。すなわち、共同薬局プログラムは小児の疾病対策としての母子保健活動ということができ、このため、カウンターパートに容易に受け入れられ、熱心な活動を継続していくことができたものと考えられる。いずれにしても、これらの活動はフェーズ 2 へ発展させ、フィリピン民衆のなかに根づくことが期待される活動であるといえよう。

3. プロジェクトの当初計画と活動実績・評価

3-1 プロジェクトの目的

本プロジェクトの目的は、前述したようにパイロットエリアであるタラック州における家族計画および母子保健の向上であり、より具体的には次の3点である。

- (1) タラック州における家族計画・母子保健サービス提供体制の改善
- (2) 住民参加の促進による地域保健活動の活性化
- (3) 家族計画・母子保健に携わる人員の能力向上

3-2 実施計画と活動実績・評価

上記目的を達成するために計画された事項と、各事項についての実績・評価は以下のとおりである。各事項の詳細計画は、プロジェクト初年度にローカルコンサルタントを活用して実施されたベースライン調査（「目標4. ア.」参照）等に基づき策定されている。

なお、各活動の評価については、本調査団とは別に、ベースライン調査と同一のローカルコンサルタントにより現在実施されているインパクト調査の結果も参照されたい（「目標4. ウ.」参照）。

目標1. 家族計画・母子保健サービスの推進と供給体制のレベルアップを図る

ア. 活動計画：機材供与

投入実績・評価：基礎的かつ必須の医療資機材を Rural Health Unit (RHU)、Barangay Health Station (BHS)、郡病院、州病院、母子保健センターに供与した（詳細は附属資料 JOINT EVALUATION REPORT ANNEX 2 参照）。これら資機材は、ヘルスワーカーがより効果的、効率的に家族計画・母子保健にかかる日常の諸活動を行ううえで有効に活用されていることを確認した。また、本機材供与の副次的産物として、当該自治体の相対的に乏しい保健予算が、より住民に直接裨益する活動に支出される結果ともなっている。

イ. 活動計画：母子保健センターの整備

投入実績・評価：プロジェクト基盤整備事業費により、タラック州病院の附属施設として母子保健センターが建設された。同センターは、タラック州における母子保健のレファラルセンターとしての役割のほか、母子保健関連の各種予防活動の立案やカウンセリング、教育などを活発に実施している。

ウ. 活動計画：日本人専門家の派遣

投入実績・評価：これまでに、日本から長期専門家9名、短期専門家18名が派遣されている（詳細は附属資料 JOINT EVALUATION REPORT ANNEX 3 参照）。

目標2. 住民参加の促進

現場の保健医療担当者と地域社会のメンバーとの間で定期的な会合や打合せを開けるような仕組みをつくる等のアプローチを行う。また、男女の平等な参加を促進するとともに、母親グループ等地域社会における既存組織の活用方策を検討する。

ア. 活動計画：共同薬局の運営

投入実績・評価：ベースライン調査（「目標4. ア.」参照）において、1992年1月に施行された地方分権法の影響のひとつとして、地域レベルでの必須医薬品の不足とそれに伴う保健サービスの悪化が指摘された。これを受けて、プロジェクトではタラック州との協議のうえ、ローカル NGO (th Seed of Health) と連携し、村落共同薬局（Community Drug Insurance Program）の推進に取り組んだ（医薬品回転システム）。このプログラムが導入された村落では、共同薬局活動への参加を通じて、地域住民の健康に対する意識が向上している。

イ. 活動計画：母子手帳の導入

投入実績・評価：日本で用いられている母子健康手帳に基づく母子保健ハンドブックの導入が図られた。母子保健ハンドブックは、フィリピンでの使用に適するように内容が大幅に改訂されたうえで、タガログ語に翻訳された。また、イラストが多用され、サイズは大判とされた。プロジェクトサイトでは、この母子保健ハンドブックとともに、家族の健康管理の推進を目的とした体温計等がセットされてビニールケースに入れられ配布された。母子保健ハンドブックは、母親学級（「オ.」参照）で教材として利用され、母親はこれを予習し、当日は助産婦の進行のもと、母親が積極的に発言しながら健康教育が実施された。これまでに、のべ4,000名以上の女性がこれに参加している。

母子保健ハンドブックは、配布を受けた母親によりその実用性等を高く評価され、母親学級時のみならず、少なくとも週に1度は家庭でも利用されていることが、専門家により行われた調査により明らかとなっている。体温計は子供の発熱時に98.7%の母親により使用されているとのことである。なお、内容について助産婦からは、家族計画や栄養等の記述も追加してほしいとの意見が出されている。また、より広範な地域への配布を可能とするために、印刷コストを落とした廉価版の発行も望まれている。

ウ. 活動計画：巡回ビデオ上映会の開催

投入実績・評価：州内ののべ150カ所のバランガイを（タラック州には500のバランガイがある）、週2回ビデオを搭載した車両で夜間に巡回訪問し、本プロジェクトで作成された教育用ビデオの上映会が開催された。上映会には多数の住民が参加するように、娯楽ビデオも上映しているが、フィリピン人の陽気さも手伝い、毎回非常に盛況である。この上映会を発展させ、RHUおよびBHSでは、検診日のように人が多数来る日には、「母親テレビ」と称してビデオによる保健教育が実施されるようになっている。このような、ビデオを活用しての集団視聴覚教育は、フィリピンでは非常に有効な手段である。

エ. 活動計画：自然家族計画法の普及

投入実績・評価：フィリピン政府は宗教上の理由から、自然家族計画法を家族計画法の選択肢のひとつと位置づけている。しかし、ヘルスワーカーの知識が乏しいため、あまり普及していないのが現実である。こうした状況のもと、プロジェクトでは州衛生局の要請を受け、同法の普及を試行することとし、州内7カ所のバランガイで、ローカルNGO（the Federation for Natural Family Planning）との連携下、地域社会で家族計画法の普及に携わるヘルスワーカーに対する研修活動を実施し、これまでに200名が自然家族計画法を実践する成果をあげている。

オ. 活動計画：母子保健キャンペーンの実施

投入実績・評価：ベースライン調査の結果、タラック州の妊婦の産前検診受診率は保健省が定める基準にはるかに及ばないことが判明した。これを受けて、プロジェクトは1994年11月に保健省健康教育課（the Public Information and Health Education Service）およびタラック州衛生局と共同で、各種メディアを通じて母子保健キャンペーンを実施し、地域住民の積極的な保健行政サービスの利用を促進することをねらった。この結果、タラック州全域で、火曜日は妊産婦検診日との認識が定着し、火曜日にはすべてのBHSに助産婦が常駐し、多数の妊産婦が訪れるようになっている。また、BHSの利用者が増えたことで検診前の待ち時間が増えたが、その時間を活用しての健康教育や妊産婦同士の情報交換が活発に行われるようになり、BHSの活性化にも貢献している。

目標3. 研修活動

現場の担当者やサービス従事者の資質の向上のための現地トレーニングを行う。現地トレーニングとしては、次のようなものが考えられる。

- a) 地域社会のリーダーや担当者のための、住民に対する適切な情報提供を行う技術についてのトレーニング
- b) 保健医療サービス従事者のための母子保健強化トレーニング
- c) 地域の政治的指導者やオピニオンリーダーのための家族計画・母子保健に関する啓発のためのワークショップ

ア. 活動計画：助産婦活動改善プログラム

投入実績・評価：助産婦はフィリピンの保健制度では非常に重要な役割を果たしている。すなわち、バラングイレベルでは、保健センターに常駐する唯一の保健担当者であり、助産婦を教育し、情報を与えることにより、地域の種々の保健ニーズに対処することができる。このため、本プロジェクトでは助産婦の知識・技術を高めるためのプログラムが実施された。

その第1段階では、助産婦活動の現状を把握し、助産婦に対するトレーニング・ニーズを見極め、第2段階ではトレーニングの実施、第3段階ではその評価が実施された。第1段階では、患者や地域に対する健康教育を実施する能力の不足が指摘されたため、合計202名の助産婦にトレーニングを実施し、その後の助産婦の活動を支援するため、スーパーバイズする保健婦の研修およびその保健婦による助産婦の活動評価が行われた。これらの活動は、用意周到に実施され、技術移転として成功したと評価される。

イ. 活動計画：技術交換事業

投入実績・評価：近隣国の JICA 同種プロジェクトとの技術交換事業として、1993年にインドネシア家族計画・母子保健プロジェクトを、1995年にタイ家族計画プロジェクトを訪問し、各々のプロジェクトの経験や成果等について情報を交換した。また、1995年9月と翌年5月には、フィリピン保健省がジョイセフおよび UNFPA との連携のもと、バタンガス州で実施している人口分野のプロジェクトを訪問し、活動の視察と情報交換を行った（詳細は附属資料 JOINT EVALUATION REPORT ANNEX 4 参照）。

ウ. 活動計画：日本でのカウンターパート研修

投入実績・評価：これまでに13人のフィリピン側カウンターパートに対して日本で研修が実施され、研修成果が帰国後の活動に生かされている（詳細は附属資料 JOINT EVALUATION REPORT ANNEX 5 参照）。

目標 4. モニタリング・評価

次のような IEC 活動のためのマニュアルや教材の提供を行う。

- a) 前述したトレーニング実施のための教材
- b) 保健医療従事者や管理者のための業務指針
- c) フィリピン人口委員会 (POPCOM) との協力による住民啓発のための視聴覚教材

ア. 活動計画：ベースライン調査の実施

投入実績・評価：1993年にフィリピン大学人口研究所 (University of the Philippines Population Institute) の協力を得てベースライン調査が実施された。本調査はタラック州における家族計画や母子保健の現状とニーズを把握するために行われた。調査は、住民に対する聞き取り調査やフォーカスグループ・ディスカッションなどを通じて行われた。プロジェクトの各活動の詳細計画は、この調査結果に基づき策定されている。

イ. 活動計画：子供の栄養調査

投入実績・評価：フィリピンでは5歳以下の子供については、毎年体重測定が実施されている。しかし、これは文字どおり体重測定のみであるので、本プロジェクトでは子供の栄養状態をより詳しく把握するために、身長、体重、上腕囲の測定を実施した。また、典型的な6カ所のバラガイでは、600人の児童を対象に栄養調査を実施し、その結果は現在実施されている栄養改善のための教育活動に生かされている。なお、州保健局では、栄養失調のある子供に対して栄養補給対策を実施しており、年1回の保健キャンペーンではビタミンAおよびヨードの投与が行われている。

ウ. 活動計画：インパクト測定調査

投入実績・評価：プロジェクトの最終年度である1996年度、フィリピン大学人口研究所の協力を得て、プロジェクトの成果を客観的に評価する調査が実施中である。

目標 5. IEC教材の開発・制作

ア. 活動計画：IEC教材の開発・制作

投入実績・評価：フィリピン保健省は、1995年に視聴覚教材の開発・制作を従来のような課ごとに行う体制から、全省的に統一して行う体制としたが、本プロジェクトではこれに対応し、当該部署の要員の日本での研修を実施するとともに、本プロジェクト独自に家族計

画・母子保健教材の開発・制作を行った。これらには、母子保健ハンドブック、ポスター、カレンダー、家族計画・母子保健ミニライブラリー、ビデオの制作が含まれ、主にタラック州内で利用されてきたが、一部の教材については保健省により全国的に配布されている。タラックでの本プロジェクトの個々の活動に関する広報ビデオも制作されている。また、これらの教材は、毎週火曜日に実施される「妊産婦の日」やその他のキャンペーン活動に利用されている。さらに、保健省等により行われている IEC ワークショップにも協力している。本プロジェクトにおける視聴覚教材の開発・制作は、種々の波及効果を生みつつ活発に実施されているといえよう（詳細は附属資料 JOINT EVALUATION REPORT ANNEX 6 参照）。

3-3 今後の課題

本プロジェクトはおおむね当初の目的を達成したと評価される。プロジェクトの成果のうち、「火曜日は妊産婦の日」キャンペーンなどは、保健省の予算で全国展開の可能性も出ている。今後は以下の諸点を踏まえたうえで、より広範な地域に本プロジェクトの成果を波及・定着させる協力を実施することが待望される。

- (1) 自然家族計画法の普及において、夫の協力と参加を求める活動が行われたが、住民参加を一段と実のあるものとするために、ジェンダー配慮の観点から、男女の平等な参加を促進すること。
- (2) プロジェクト協力期間中に供与された各種機材が、今後とも適切に維持管理され、有効活用されること。
- (3) 調査モニタリングの専門家を派遣するなど、モニタリング体制の強化を図ること（日本人専門家が1～2年ごとに交代していることや現地の文化的特性等もあって、モニタリングが、これまでは必ずしも十分ではなかった）。
- (4) ローカル NGO も含めて関係者間の情報ネットワークを整備すること（プロジェクト事務所が複数箇所に分散しており、連絡が難しい場合がある）。
- (5) ローカル NGO とのいっそうの連携強化（日本では行革の一環を担う NPO の重要性が認識されてきている。フィリピンのローカル NGO の役割を紹介し、連携を強化することは当プロジェクトの特徴をアピールすることにもなる）。

附 属 資 料

- ① 合同評価報告書 (JOINT EVALUATION REPORT)

① 合同評価報告書 (JOINT EVALUATION REPORT)

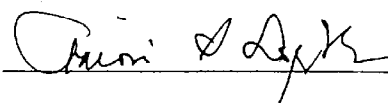
JOINT EVALUATION REPORT
ON THE
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE
FAMILY PLANNING/MATERNAL & CHILD HEALTH
PROJECT
IN THE
PHILIPPINES

16 August 1996

Manila, Philippines



TOSHITAKA NAKAHARA, MD, MPH, Ph.D.
Leader
Japanese Evaluation Team
Japan International Cooperation Agency
JAPAN



ANTONIO S. LOPEZ, MD, MPH
Assistant Secretary and Officer-in-Charge
Office for Public Health Services
Department of Health
REPUBLIC OF THE PHILIPPINES

MINUTES OF DISCUSSION

BETWEEN
THE EVALUATION TEAM OF
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE
GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF THE PHILIPPINES

ON
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR THE
FAMILY PLANNING/MATERNAL AND CHILD HEALTH PROJECT

Date : 16 August 1996

Place : Department of Health
San Lazaro Compound, Sta. Cruz, Manila, Philippines

Attendance :

JAPANESE PANEL:

1. Evaluation Team

Dr. Toshitaka Nakahara	Team Leader
Dr. Shigeru Suganami	Member
Dr. Kei-ichi Sone	Member
Dr. Kazuhiko Adachi	Member
Dr. Mitsuhiro Naemura	Member

2. Project Team

Dr. Kyo Hanada	Team Leader
Mr. Kenji Ikari	Project Coordinator
Mr. Akio Taguchi	IEC Expert
Dr. Kenji Tsumagari	Family Planning/Maternal & Child Health Expert
Dr. Suketaka Iwanaga	Family Planning/Maternal & Child Health Expert
Ms. Ayako Nakamori	IEC Expert

3. JICA Philippine Office

Mr. Eiji Iwasaki	Assistant Resident Representative
Ms. Maki Nagai	Assistant Resident Representative



PHILIPPINE PANEL:

1. Department of Health
Dr. Antonio S. Lopez

Dr. Ma. Virginia Ala
Ms. Leticia Espinosa

Mr. Anthony Roda
Ms. Ellen Francisco

Assistant Secretary & Officer-in-Charge,
Office for Public Health Services
Former Project Coordinator (DOH-side)
Officer-in-Charge, Public Information & Health
Education Service (PIHES-DOH)
Head, Audio Visual Unit, PIHES-DOH
Head, Printing Section, PIHES-DOH

2. Commission on Population
Ms. Grace Dino

Chief, Planning Division

3. University of the Philippines Population Institute
Dr. Aurora E. Perez
Dr. Josefina Cabigon
Dr. Corazon M Raymundo

Director
Associate Professor
Professor

4. Tarlac Provincial Health Office
Dr. Ricardo Ramos

Provincial Health Officer II

I. INTRODUCTION

The Japanese Evaluation Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Dr. Toshitaka Nakahara, visited the Republic of the Philippines from August 11 to 20, 1996, in order to evaluate jointly with the authorities concerned of the Republic of the Philippines the past achievements and future prospects of the Japanese Technical Cooperation for the Family Planning and Maternal and Child Health Project (hereinafter referred to as "the Project") on the basis of the Record of Discussions signed on March 11, 1992.

During its stay in the Republic of the Philippines, the Team, together with concerned Philippine counterparts, discussed and studied the progress of implementation, performance of commitments and achievements of the Project.

As a result of careful studies and discussions, both parties summarized their findings and observations as described in the following chapters.

II. METHOD OF EVALUATION

2.1 Materials used as reference

In order to evaluate the past performance and achievements both in quantity and in quality, the following materials were used as reference:

- 2.1.1 The Record of Discussions
- 2.1.2 The Tentative Schedule of Implementation
- 2.1.3 The official requests made by the Philippine Government with regard to the dispatch of Japanese experts, training of Philippine counterparts in Japan and the provision of equipment using Colombo Plan forms A1, A2-3 and A4, respectively
- 2.1.4 The Minutes of Discussions agreed upon during the course of the Project implementation
- 2.1.5 Materials and reports produced in relation to Project implementation

2.2 Discussion and Observation

The Team discussed various aspects of the Project and observed the buildings, machinery, equipment, facilities and utilities made available for the Project.

III. OBJECTIVES AND STRATEGIES OF THE TECHNICAL COOPERATION PROJECT

3.1 Objectives

According to the Record of Discussions signed on March 11, 1992, the general objective of the project is to improve family planning and maternal and child health activities in the pilot area - Tarlac province in Region 3.

Its specific objectives are:

1. To improve the service delivery system of FP/MCH in the pilot area;
2. To reinforce community health activities through enhanced community participation;
3. To improve the capacity of health and other community workers involved in FP/MCH services.

3.2 Strategies/Plan of Action

In order to accomplish the above-mentioned objectives, the following strategies were utilized:

- 3.2.1 Promotion of the delivery of improved FP/MCH services (in support of Objective 1) - by means of upgrading health facilities and equipment and strengthening the service delivery network in hospitals, RHUs and BHSs to adequately provide and promote FP/MCH services.
- 3.2.2 Adoption of measures for heightened community participation (in support of Objective 2) - with the use of innovative approaches such as the establishment of mechanisms for regular assemblies and consultations between the field health workers and the community members; promotion of equal participation of men and women; and testing of mechanisms to maintain existing community organizations such as mothers' groups for family health and welfare.

- 3.2.3 Conduct of Training (in support of Objective 3) - to strengthen the capabilities of field workers and service providers by means of appropriate local training (through middle-level trainees training program), which includes:
- a. Interpersonal Communication Skills (ICS) training for community leaders and health workers;
 - b. Maternal and Child Health (MCH) Refresher training for midwives;
 - c. Orientation workshop on population and development for local political leaders and public administrators.
- 3.2.4 Establishment of a project monitoring and evaluation system (in support of Objectives 1, 2, & 3) - through the conduct of surveys, research and other data gathering activities in cooperation with research institutions. This system is the basis for the final impact assessment of the project.
- 3.2.5 Development and production of information, education and communication (IEC) materials (in support of Objectives 1,2, & 3) - which include:
- a. materials for training activities;
 - b. standard operation procedure manuals for health workers and management staff;
 - c. audiovisual materials for advocacy and raising public awareness of FP/MCH (in cooperation with the Commission on Population).

IV. CONCLUSION AND RECOMMENDATIONS

As a result of the joint evaluation work and discussions, both sides reached the following conclusions:

- 5.1 In general, most activities have satisfactorily achieved the target as set forth in the Record of Discussions.
- 5.2 Both sides agreed that the Project achieved improvement in the overall delivery of FP/MCH services through equipment and technical support. However, there is a need for more careful attention to proper maintenance of machineries and equipment as well as new facilities to maximize their utility.
- 5.3 Both sides agreed that the activities seeking to improve community participation for health have been successful. However, there is a further need for activities that promote-equal participation of men and women as well as those that promote gender sensitivity.



- 5.4 Both sides agreed that the training programs conducted by the project achieved the objective of improving the capability of health workers. However, capability-building is a continuous process and all efforts must be exerted by officials concerned to sustain the gains achieved by the Project.
- 5.5 Both sides agreed that the Technical Exchange Training Programs, both overseas and in-country, were effective in providing counterparts with useful insights on the conduct of similar projects elsewhere.
- 5.6 Both sides agreed that the Government of the Philippines would replicate the positive achievements of the FP/MCH project in Tarlac to other provinces.

✓ ⊕

ANNEX 1
PROJECT ACCOMPLISHMENTS

Using the strategies mentioned above, the project implemented the following activities:

Strategy 1: Promotion of the delivery of improved FP/MCH services

4.1 Provision of Medical Equipment

The Project provided basic and essential medical instruments and equipment to rural health units, barangay health stations, the provincial as well as district and community hospitals and the Tarlac Center for Mother and Child. Access to good quality equipment and facilities made it easier for health workers to carry out their FP/MCH functions more effectively and efficiently. This also enabled local governments to utilize their meager funds for other health needs of their community. A listing of the equipment made available by the project appears in **ANNEX 2**.

4.2 Establishment of a Center for Mother and Child

The establishment of the Center for Mother and Child was based on the request from the Department of Health and the Tarlac Provincial Health Office for a supplementary provision for infrastructure support. The request stemmed from a felt need to provide a more holistic approach to health service delivery. Putting up this Center helped the Provincial Health Office improve FP/MCH care by providing a strong linkage among the curative, preventive and promotive functions of the health service delivery system. The Center, which was built beside the Tarlac Provincial Hospital, now provides a venue for preventive action planning and patient counseling and education, apart from serving as a consultation and referral center for mothers and children. It is also the venue for official trainings on MCH and nutrition and is equipped with facilities (e.g., gas cookers, sink) which can be utilized by trainees for practice. Meanwhile, conferences and other meetings continue to held at the Seminar Room of the Tarlac Provincial Hospital which is equipped with IEC equipment (e.g., TV monitors, Video-Cassette Recorder, etc.).



4.3 Dispatch of Japanese Experts

JICA has dispatched nine (9) long-term experts and eighteen (18) short-term experts who cooperated with Philippine counterparts by providing technical support and advice in various aspects of project implementation. The name list of experts and their areas of specialization appear in **ANNEX 3**.

Strategy 2: Adoption of measures for heightened community participation

4.4 Community Drug Insurance Program (CDIP)

One of the findings uncovered by the baseline survey is the strong concern of rural health physicians that, after devolution, the lack of essential drugs in health clinics might hamper the efficient delivery of health services. Such a scenario would clearly imperil the health of mothers and children.

This is the reason the Tarlac Provincial Health Office discussed with JICA experts the possibility of adopting a community-based drug insurance program. The project readily agreed to develop a scheme in coordination with SMBK or the "Samahang Manggagawa ng Binhing Kalusugan" (Organization of Workers for the Seed of Health), a non-governmental organization (NGO). The program, which is known as the Community Drug Insurance Program (CDIP) was implemented as part of the project's activity plan of developing a strong relationship between the health workers and community people.

Using the participatory approach to solving the drug supply problem, the project was able to motivate the community people in the pilot barangays to actively participate in putting up of drugstores called "botika binhi" (literally, it means "drugstore seed"). Now, most essential drugs continue to be available to the community at affordable prices. As a result of this program, there is now a high level of awareness for community health activities in each barangay.

4.5 Maternal and Child Health Handbook Introduction Program (CHIP)

The Maternal & Child Health Handbook that the Project introduced in the pilot area was based on the MCH Handbook being utilized in Japan. Upon the recommendations of a committee which was formed in order to oversee the adaptation of the Japanese Handbook to the Philippine situation, the Project adopted an improved version of the Japanese Handbook by increasing its content and using more illustrations. The Handbook was then translated into the Filipino language for greater ease of understanding among pregnant women in the pilot area.

CHIP was initiated to determine the applicability and usefulness of the newly developed MCH Handbook to the community along with other materials. The CHIP package consisted of the MCH Handbook, the Home-Based Mother's Record, a thermometer, a thermometer utilization sticker and a plastic bag. Introduction of the Handbook was done through mothers' classes in two experimental areas, San Jose and Ramos. Every month, health personnel from the Rural Health Units of San Jose and Ramos submit individual registration slips of pregnant women and a mothers' class monthly report. To date, more than 700 pregnant women were registered and over 4,000 women have participated in the mothers' classes in the areas.

Results of a small evaluation study showed that mothers found the MCH handbook useful. They also found time to read the Handbook not only during mothers' classes but also at home at least once a week. Results also showed that 98.7% of women who were given thermometers and thermometer stickers were able to utilize these materials during their child's fever episodes. Health personnel found the Handbook to be a useful guide to pregnancy and pre-natal care but they also expressed the need for additional information on family planning, herbal medicine and nutrition.

4.6 Regular Video Showing in Communities

For the project's educational video productions, dissemination is by means of a video showing conducted twice a week at night time in various barangays. To date, the project has already conducted this



activity in about 150 (out of a total of 500) barangays throughout Tarlac Province. Through this activity, the project is able to disseminate health information and education to the people in various communities.

4.7 Support for Natural Family Planning (NFP)

Since the Philippine Family Planning Program promotes freedom of choice of FP method, NFP has been included in the list of possible method choices. However, health workers still lack knowledge about NFP to be able to promote it as well as the other methods. This is the reason the Provincial Health Office requested the project to conduct training on natural family planning.

NFP training was done in coordination with an NGO, the Philippine Federation for Natural Family Planning (PFNFP). Training was conducted for volunteer population workers, among which 15 are continuing community-level implementation. Barangay health workers were encouraged to develop good relationship with the community people to facilitate implementation and follow-up of cases. This was done in seven (7) pilot barangays with about 200 persons currently practicing NFP.

4.8 Maternal and Child Health Campaign, entitled "Martes: Araw ng Buntis" (Tuesday: A Day for Pregnant Women)

Results of the baseline survey indicated that the pre-natal check-up rate in Tarlac, particularly during the first trimester of pregnancy, is quite low as compared to the Department of Health's recommended standards. Our project designed a program to develop a strong relationship between health workers and the community so that it would be easier to motivate pregnant women to go to the health clinics for pre-natal check-up. The MCH campaign was realized through the linkage of the barangay health stations, rural health units, the Tarlac Provincial Health Office and the Public Information and Health Education Service (PIHES) of the Department of Health. The campaign was conducted for three weeks last November 1994.

The effectiveness of the campaign was manifested by both health workers and mothers. For mothers, pre- and post-surveys reveal that 25% of

women sampled received the campaign message. For health workers, the campaign was effective in promoting Tuesday as the pre-natal consultation day throughout Tarlac. As a result of this, all midwives now stay in the barangay health stations every Tuesday to accommodate all pregnant women who come for check-up. They also find it easier to seek the assistance of barangay health workers (BHWs) since the BHWs know Tuesday to be the designated day for pregnant women. Midwives have also utilized the Tuesday gathering of pregnant women as an opportunity for mothers to exchange ideas with one another. Moreover, health workers now make use of the mother's waiting time in the clinic to conduct health education sessions specific to the needs of pregnant women. Such activity reinforced the important role of BHWs in health service delivery.

As a follow-up to the MCH campaign, the project conducted more information dissemination activities in 1995. Pre-natal information was also part of the video materials collection being shown in various barangays.

Strategy 3 : Conduct of Training

4.9 Midwife Service Improvement Program (MSIP)

Midwives play a very pivotal role in the structure of health service delivery in the Philippines. At the village or barangay level, the midwife mans the barangay health station (BHS) single-handedly. Such a situation makes it imperative for the midwife to be well-informed and well-trained to be able to respond to the various demands of the community for health services and information.

The Project, through a committee composed of JICA experts and the counterparts in the Tarlac Provincial Health Office, designed the MSIP to respond to the need to update the knowledge and skills of midwives. MSIP consisted of three (3) phases: The first phase provided a subjective-objective evaluation of current midwives' performance and an assessment of their training needs. Phase two was the intervention stage. During this phase a training/re-training program was implemented based on the

results of the assessment survey in Phase 1. The evaluation component of the program was, in turn, the main focus of Phase three.

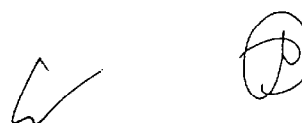
A total of 202 Rural Health Midwives (RHM) participated in MSIP. As a follow-through of the Interpersonal Communication Skills (ICS) training for midwives, seven Public Health Nurses (PHNs) from different Rural Health Units (RHUs) were selected for the Supervisors Training. These PHNs were trained as supervisors to monitor the ICS activities of 42 RHMs selected at random from among the participants in the Basic ICS Training Course.

4.10 Technical Exchange Training Program

This activity is intended as a forum for exchanging ideas and experiences among those involved in similar projects in the fields of Family Planning (FP) and Maternal and Child Health (MCH) in other parts of the Philippines as well as in other neighboring countries.

A trip to Indonesia was organized in 1993 to enable project counterparts to observe the successful implementation of the FP Program in that country and to learn from an exchange of experiences with the Indonesians running the JICA FP/MCH Project there. During the first quarter of 1995, a second observation trip was organized and the destination this time was in Thailand. The names of the counterparts who participated in the program are listed in **ANNEX 4**.

On September 1995, a visit of the JICA Project Team to the DOH/JOICFP/UNFPA Project was organized in two municipalities in Batangas Province. The team visited the municipality of Balayan to observe the ongoing activities in the area with a view towards adopting those which may be of benefit to our own project in Tarlac Province. They also made a short visit to the municipality of Malvar, Batangas, which is the second project site of the DOH/JOICFP/UNFPA Project. In May 1996, the project also coordinated the visit of a group of Tarlac midwives to Balayan, Batangas for a study tour to exchange ideas and experiences with their Batangas counterparts. The members of the Project Team and

Handwritten signature and initials at the bottom right of the page.

the names of counterparts who participated in the study tours to Batangas are also available in **ANNEX 4**.

4.11 Counterpart Training in Japan

So far, thirteen (13) Philippine counterparts have been sent to Japan for either FP/MCH or Audio-Visual Production training. These counterparts have shown marked improvement in their skills after participation in the JICA training programs. The names of these counterparts and their current positions are listed in **ANNEX 5**.

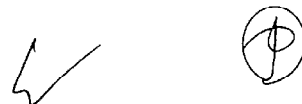
Strategy 4: Establishment of a project monitoring and evaluation system

4.12 Conduct of a Baseline Survey

The baseline survey for the project was conducted in 1993 in collaboration with the University of the Philippines Population Institute (UPPI). This research collaboration is in keeping with the project's strategy of promoting ... "the establishment of tie-ups with research institutions." This survey assessed the needs and status of the people of Tarlac province in terms of family planning practice and maternal and child health. A sample survey was conducted on community people and focus group discussions were conducted among health workers. Based on the results of the survey, the project designed the activities to be implemented. The Final Report on the Baseline Survey has been printed and distributed to relevant agencies.

4.13 Nutritional Assessment Survey (NAS) of Children

In the Philippines, children less than 5 years old undergo a weight check-up annually. However, this annual check-up consists only of weight measurement. In Tarlac, the project conducted an anthropometric survey (measurement of height, weight and mid-arm circumference) of children in order to detect more accurately the level of malnutrition. The Provincial Health Office of Tarlac provides food supplementation to children with secondary and tertiary degrees of malnutrition for a maximum period of 18 months as part of its Nutrition/Food Supplementation Program. In addition, once a year, through the campaign, Vitamin A and Iodine are given to pregnant women and children.



In 1995, the project selected six (6) typical barangays and targeted 600 boys and girls. Included in the survey were boys up to eleven-and-a-half years old and females up to 10 years of age. Results of the survey are available for use in planning future intervention programs.

4.14 Impact Evaluation Study

During the last year of project implementation, an impact evaluation study was conducted in cooperation with the University of the Philippines Population Institute. This study utilized survey, focus group discussions, in-depth interviews and observation methodologies to assess the effect of the project among various sectors in the pilot area. The preliminary results of this Evaluation Study are ready for dissemination to relevant officials and concerned agencies.

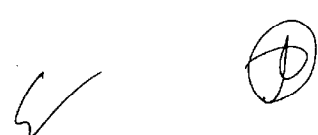
Strategy 5 Development and production of information, education and communication (IEC) materials

4.15 Development and production of IEC materials

Prior to 1995, IEC activities and materials production at the DOH were handled individually by each division handling particular programs. In 1995, the DOH decided to establish the Integrated Media Production Center (IMPC) to centralize the production of all IEC materials in one division - the Public Information and Health Education Service (PIHES).

For this reason, the DOH asked the JICA project's assistance in manpower development and provision of equipment for PIHES to be able to cope with its expanded role. In response, the project accepted the nomination of some PIHES staff for training in Japan in the field of IEC and Audio-Visual production. The project also accepted the request for equipment from the DOH for its Audio-Visual Unit and Printing Section. Now, the DOH produces materials for its target programs for nationwide distribution.

Apart from assistance to PIHES, the project produced the FP/MCH mini-library series, MCH Handbook, posters, comics, and other print materials



for use in Tarlac. It also produced a series of audio-visual materials for dissemination through regular video showing in various communities and for counseling and health education activities in waiting areas of field health units and the Center for Mother and Child. Some IEC materials which were pilot tested in Tarlac have been reproduced by the DOH for nationwide dissemination. Details on the IEC materials produced are available in **ANNEX 6**.

As part of its IEC activities, the project collaborated with the Philippine NGO Council (PNGOC) and the DOH in the conduct of two National IEC Workshops. The first was held in November 1995 and the second in March 1996. Conduct of the National IEC Workshop became a regular joint activity of PNGOC, UNFPA, DOH, and JICA. The project also co-produced the Inventory of FP/Reproductive Health IEC materials in coordination with PNGOC. Reports on the workshops as well as the Inventory of IEC materials have been submitted.

✓



ANNEX 2: LIST OF MAJOR EQUIPMENT

NO.	EQUIPMENT	DESCRIPTION	QTY	YEAR	INSTALLATION SITE
1	Trinocular Microscope	BHT-312 (SP) AC220V.	3	1992	Tarlac province
2	Diathermy unit	OM-401S	1	1992	Tarlac province
3	Universal operating table	SPL-330N B-set	2	1992	Tarlac province
4	Obstetric delivery table	K-90B	1	1992	Tarlac province
5	Autoclave	Speedy Autoclave SS-320	1	1992	Tarlac province
6	Rack for equipment	Custom-made	1	1992	Tarlac province
7	Time code generator/reader	TGR-2000 AC220V. NTSC	1	1992	POPCOM
8	Hi-8MM Video Recorder	EVO-9700	2	1992	POPCOM-1; Tarlac Province - 1
9	Hi-8MM Video Recorder	EVO-9800A	1	1992	POPCOM
10	Personal Computer System	Mac Quadra 800	4	1992	DOH - 1; POPCOM - 1; University of the Philippines Population Institute -1; Tarlac Province - 1
11	Personal Computer System	Powerbook 165C (12MB/120MB)	3	1992	DOH
12	Personal Computer System	Infocus 5000FXPC Viewer	1	1992	DOH
13	Plain Paper Copier	Mita Model DC-1855	5	1992	DOH - 2; POPCOM - 1; University of the Philippines Population Institute -1; Tarlac Province - 1
14	4 WD vehicle	Pajero GLX2600cc	2	1992	DOH
15	4 WD vehicle	Pajero GL Diesel 2500cc	1	1992	Tarlac Province
16	Minibus (ambulance)	L-300, 2WD, 2477cc Diesel	1	1992	Tarlac Province
17	Fetal Monitor	MT-332	1	1993	Tarlac Province
18	OR Table	OT-333k	1	1993	Tarlac Province
19	Delivery/OR Table	K-90A	1	1993	Tarlac Province
20	Incubator	H-1000D PS-ICU	1	1993	Tarlac Province
21	Sterilizing set (Autoclave)	20 x 36	1	1993	Tarlac Province
22	Video Projector	VPH-1000QM	1	1993	DOH
23	Multiscan Projector	VPH-1031QM	1	1993	Tarlac Province
24	Motor Drive Projector Screen	PVE-150	1	1993	DOH

ANNEX 2: LIST OF MAJOR EQUIPMENT

NO.	EQUIPMENT	DESCRIPTION	QTY	YEAR	INSTALLATION SITE
25	LCD Projector	XG-5888E	1	1993	DOH
26	Personal Computer System	Mac Quadra 800	1	1993	Tarlac Province
27	Dental Unit	Local	1	1994	Tarlac Province
28	Surgical Anaesthetic	Ohio	1	1994	Tarlac Province
29	Electrocautery Machine	MS-3300	1	1994	Tarlac Province
30	Betacam SP Editor	UVW-1800	2	1994	DOH
31	System Rack	Custom-made	1	1994	DOH
32	System Console	Custom-made	1	1994	DOH
33	Betacam SP Camcorder	UVW-100K	2	1994	DOH
34	8-ch. Audio Recorder	DA-88	1	1994	DOH
35	Cue Sytem & Panel	Custom-made	1	1994	DOH
36	Connecting Panel	Custom-made	1	1994	DOH
37	19-inch System Rack	Custom-made	1	1994	DOH
38	Betacam SP Editor	UVW-1800	1	1994	DOH
39	19-inch System Rack	Custom-made	1	1994	DOH
40	Tissue Processor	Lyka	1	1994	Tarlac Province
41	Volume Ventilator	MA-1	1	1994	Tarlac Province
42	Refrigerated Centrifuge	CR3.12	1	1994	Tarlac Province
43	Betacam SP Player	PVW-2650	1	1994	DOH
44	Video Switcher	DFS-500	1	1994	DOH
45	Offset Press	Hi-Speed, Single-color	1	1994	DOH
46	4wd Vehicle	Pajero GLX, 2600cc	1	1994	Tarlac Province
47	Minibus	L-300 DX 2000cc	1	1994	DOH
48	Infant Incubator	H-1000D-LCS	4	1995	Tarlac Province
49	Infant Warmer	NIW-2000	1	1995	Tarlac Province
50	Patient Monitor	DS-502	2	1995	Tarlac Province

ANNEX 2: LIST OF MAJOR EQUIPMENT

NO.	EQUIPMENT	DESCRIPTION	QTY	YEAR	INSTALLATION SITE
51	Defibrillator	FC-506	1	1995	Tarlac Province
52	Electro-cautery machine	MS-3300	1	1995	Tarlac Province
53	Dental Unit	Heritage	1	1995	Tarlac Province
54	Autoclave	Local	1	1995	Tarlac Province
55	Betacam VTR	UVW-1800	1	1995	POPCOM
56	Camcorder	DCR-VX1000	4	1995	DOH
57	Wagon	Tamaraw FX wagon GL, 1500cc	1	1995	DOH
58	Avid Media Composer 1000	CPU & Board Set Assembly	1	1995	POPCOM
59	Computer Peripherals	4.0 GB External Hard Drive	1	1995	POPCOM

ANNEX 3

LIST OF LONG-TERM AND SHORT-TERM EXPERTS

1. LONG-TERM EXPERTS

	NAME	EXPERTISE	SCHEDULE
1.	Mr. Kenji IKARI	Project Coordination	July 1, 1992 - March 31, 1997
2.	Mr. Akio TAGUCHI	IEC	November 25, 1992 - March 31, 1997
3.	Ms. Chieri YAMADA	Public Health	March 1, 1994 - July 31, 1995
4.	Dr. Hajime INOUE	FP/MCH	April 15, 1994 - March 31, 1996
5.	Dr. Masahiro TANAKA	FP/MCH	April 1, 1994 - March 31, 1996
6.	Dr. Kyo HANADA	Chief Adviser	May 15, 1995 to March 31, 1997
7.	Dr. Suketaka IWANAGA	FP/MCH	March 1996 - March 1997
8.	Dr. Kenji TSUMAGARI	FP/MCH	March 18, 1996 - March 31, 1997
9	Ms. Ayako NAKAMORI	IEC	April 1, 1996 - March 31, 1997



2. SHORT-TERM EXPERTS

	NAME	EXPERTISE	SCHEDULE
1	Dr. Nobuyoshi WATAHIKI	Health Statistics & Demography	June 21 - July 31, 1993
2	Mr. Takujiro ITO	IEC	August 7 - Sept. 5, 1993
3.	Dr. Toshihiro ISHII	Public Health	Oct. 4-31, 1993
4.	Dr. Kazuaki MIYAGISHIMA	Public Health	Dec. 21-28, 1993
5.	Mr. Tasuke IWATA	IEC	Jan. 23-29, 1994
6.	Mr. Shuji NISHIMURA	IEC	July 20 - Aug. 6, 1994
7	Mr. Takujiro ITO	IEC	July 20 - Aug. 27, 1994
8	Dr. Toshihiro ISHII	Public Health	July 21 - Aug. 4, 1994
9	Ms. Ikuko MORIGUCHI	Public Health	July 26 - Aug. 12, 1994
10	Dr. Nobuyoshi WATAHIKI	Health Statistics & Demography	Nov. 7-19, 1994
11	Ms. Yukari OKA	Maternal & Child Health	Jan. 5-18, 1995
12	Mr. Mitsuo NARUI	IEC	July 23 - Aug. 5, 1995
13	Dr. Nobuyoshi WATAHIKI	Health Statistics & Demography	July 25 - Aug. 8, 1995
14	Dr. Yasuhide NAKAMURA	Public Health	July 18 - 27, 1995
15	Mr. Mutsumi MIYAGI	IEC	Nov. 8-28, 1995
16	Ms. Yoshiko SATO	Public Health	June 12 - Aug. 10, 1996
17	Dr. Nobuyoshi WATAHIKI	Health Statistics & Demography	July 1-19, 1996
18	Mr. Yoshinori YAMASHIRO	IEC	Aug. 21 - Sept. 14, 1996



ANNEX 4

JICA TECHNICAL EXCHANGE TRAINING PROGRAM

1. OVERSEAS

1.1 **Indonesia**
(August 5-13, 1993)

Members of the Project Team :

- 1.1.1 DR. MARIA VIRGINIA G. ALA
Medical Specialist III
Office for Special Concerns
Department of Health
- 1.1.2 MR. ADEL A. MARAVE
Chief, Management Information System Section
Family Planning Service
Department of Health
- 1.1.3 DR. DIOSDADO LATOSQUIN
Municipal Health Officer
Rural Health Unit - Ramos
Tarlac Province
- 1.1.4 MS. MERCY MANLUTAC
Midwife
Rural Health Unit - Tarlac
Tarlac Province
- 1.1.5 MR. KENJI IKARI
Project Coordinator
DOH-JICA FP/MCH Project
- 1.1.6 MR. AKIO TAGUCHI
JICA IEC Expert
DOH-JICA FP/MCH Project

1.2 **Thailand**
(22 February to 2 March 1995)

Members of the Project Team :

- 1.2.1 DR. MARIA VIRGINIA GUZMAN-ALA
Medical Specialist III
Office for Special Concerns
Department of Health
- 1.2.2 DR. REYNALDO PATRIARCA
Municipal Health Officer
Rural Health Unit No.III
Municipality of Tarlac
Tarlac Province

✓ (P)

- 1.2.3 MRS. FLORDELIZA CATA CUTAN
Public Health Nurse
Municipality of Tarlac
Tarlac Province
- 1.2.4 MRS. CECILIA PINEDA
Rural Health Midwife
Rural Health Unit No. 1
Municipality of Concepcion
Tarlac Province
- 1.2.5 MR. AKIO TAGUCHI
JICA IEC Expert
DOH-JICA FP/MCH Project

2. IN-COUNTRY

- 2.1 DOH/JOICFP/UNFPA Project :**
Municipality of Balayan, Batangas Province (Region IV)
(September 6, 1995)

The Project Team was composed of three (3) Tarlac counterparts and one (1) JICA Expert.

- 2.2 DOH/JOICFP/UNFPA Project :**
Municipality of Balayan, Batangas Province (Region IV)
(May 29-31, 1996)

The Project Team was composed of eighteen (18) Tarlac counterparts, four (4) Tarlac supervisors, three (3) JICA Experts and one (1) observer.



**ANNEX 5
LIST OF TRAINEES
COUNTERPART TRAINING IN JAPAN**

NAME/ POSITION AT TIME OF TRAINING	DATE OF TRAINING	CURRENT POSITION
FP/MCH:		
1. Dr. Antonio LOPEZ PROVINCIAL HEALTH OFFICER Tarlac Provincial Health Office	Nov 9 to Dec 17, 1992	ASSISTANT SECRETARY & OFFICER-IN-CHARGE Office for Public Health Services Department of Health
2. Dr. Ma. Virginia ALA MEDICAL SPECIALIST III Office for Special Concerns Department of Health	Nov 9 to Dec 17, 1992	PROJECT MANAGER Women's Health & Safe Motherhood Project Department of Health
3. Dr. Ricardo RAMOS MEDICAL SPECIALIST II & HEAD, OUT-PATIENT DEPT. Tarlac Provincial Hospital	Nov 11 to Dec 12, 1993	PROVINCIAL HEALTH OFFICER Tarlac Integrated Provincial Health Office
4. Dr. Cesar PADLAN MUNICIPAL HEALTH OFFICER Rural Health Unit IV- San Isidro Municipality of Tarlac	Nov 11 to Dec 12, 1993	MUNICIPAL HEALTH OFFICER Rural Health Unit IV- San Isidro Municipality of Tarlac
5. Ms. Erlinda LAGONILLA NURSE III OUT-PATIENT DEPT. Tarlac Provincial Hospital	Oct 25 to Nov 23 1994	NURSE III CENTER FOR MOTHER & CHILD Tarlac Provincial Hospital
6. Ms. Andrea DELA FUENTE PROVINCIAL MIDWIFE SUPERVISOR Tarlac Provincial Health Office	Oct 25 to Nov 23 1994	MCH COORDINATOR Tarlac Integrated Provincial Health Office
7. Dr. Higinio SANTIAGO MEDICAL SPECIALIST IV & DOH REPRESENTATIVE Tarlac Provincial Health Office	Nov 6 to Dec 4, 1995	MEDICAL SPECIALIST IV & DOH REPRESENTATIVE Tarlac Provincial Health Office
8. Dr. Raymund VALDEZ MUNICIPAL HEALTH OFFICER Rural Health Unit No. I Municipality of Concepcion	Nov 6 to Dec 4, 1995	MUNICIPAL HEALTH OFFICER Rural Health Unit No. I Municipality of Concepcion

NAME/ POSITION AT TIME OF TRAINING	DATE OF TRAINING	CURRENT POSITION
IEC (AUDIO-VISUAL):		
1. Ms. Ellen FRANCISCO MEDIA PRODUCTION SPECIALIST III & HEAD, DOH PRINTING PRESS Public Information & Health Education Service Department of Health	Mar 25 to Apr 15, 1994	MEDIA PRODUCTION SPECIALIST III & HEAD, DOH PRINTING PRESS Public Information & Health Education Service Department of Health
2. Mr. Anthony RODA INFORMATION OFFICER-III Public Information & Health Education Service Department of Health	Jan 12 to May 5, 1995	INFORMATION OFFICER-III & HEAD, AUDIO-VISUAL UNIT Public Information & Health Education Service Department of Health
3. Mr. Ariel GULA AUDIO-VISUAL TECHNICIAN III Public Information & Health Education Service	Feb 27 to Mar 31, 1995	AUDIO-VISUAL TECHNICIAN III Public Information & Health Education Service Department of Health
4. Mr. Eduardo CAGUIOA UTILITY WORKER I (Acting AV Staff) Public Information & Health Education Service Department of Health	Jan 16 to Feb 27, 1996	BOOKBINDER I (Acting AV Staff) Public Information & Health Education Service Department of Health
5. Ms. Evelyn PEREZ STATISTICIAN II (Acting AV Staff) Public Information & Health Education Service Department of Health	Jan 11 to May 3, 1996	INFORMATION OFFICER II Public Information & Health Education Service Department of Health



ANNEX 6
INFORMATION, EDUCATION & COMMUNICATION MATERIALS

	TITLE	TYPE OF MATERIAL	DATE PRODUCED	MESSAGE/CONTENT
	A. AUDIO-VISUAL:			
1.	Tarlac FP/MCH Project: A New Initiative	Video	March 1993	General information about Tarlac and the project
2.	"Isang Bakuna, Isang Buhay" (An Immunization to save a life)	Video	April 1993	Importance of Immunization
3.	"Bawa't Pintig, Buhay " (With each heartbeat ...life)	Video	January 1994	The role of the midwife in health service delivery
4.	"Balik Patak Center " (Return to Immunization Centers)	Radio Spot	February 1994	Promotion of National Immunization Day (NID)
5.	Tisay and Bosyang	Comedy Radio Spot	February 1994	Promotion of immunization & NID
6.	"Kalinga sa Magiging Ina "(Care for Expectant Mothers)	Video	October 1994	Promotion of early & regular prenatal consultation
7.	Petra	Video	April 1995	Promotion of breastfeeding
8.	TV99: Prevention of Cholera & Other Diarrheal Diseases	Video	April 1995	Prevention & treatment of cholera
9.	"Health Worker: Bayani ng Bayan" (Health Worker: Heroes of our Nation)	Video	December 1995	Inspirational video for FP Service & Information Providers (SIPs)
10.	Binhi goes to Tarlac	Video	December 1995	Documentary on the implementation of the Community Drug Insurance Program (CDIP) in Tarlac
11.	TV99: Control of Acute Respiratory Illnesses	Video	February 1996	Prevention & treatment of pneumonia & other acute respiratory illnesses
12.	PFPP: For the Family	Video	March 1996	Overview of the Philippine Family Planning Program (PFPP)

	TITLE	TYPE OF MATERIAL	DATE PRODUCED	MESSAGE/CONTENT
13.	Mother & Kit	Video	March 1996	Documentary on the community health activities in Tarlac
	B. PRINT			
1.	DOH-JICA FP/MCH Project	Brochure	March 1993	General information about the project
2.	"Libreng Bakuna Laban sa Polio" ("Free Vaccine Against Polio")	Poster	March 1993	Promotion of immunization against polio
3.	Children's height chart	Height Chart	June 1993	Child's health & welfare are the key to a good future
4.	"Walang Katumbas ang Kulay ng Buhay" ("There's no substitute for the color of life")	Poster	August 1993	Promotion of intake of Vitamin A and prevention of blindness
5.	1994 Calendar	Calendar	December 1993	Promotion of FP and MCH
6.	FP/MCH Mini-Library Series for Health Workers	Hanging banner with FP/MCH reference information	January 1994	General reference material for health workers on FP & MCH
7.	"Sa Isang Nagdadalantao..." (For a Pregnant Woman...)	Comics	September 1994	Promotion of early & regular pre-natal consultation
8.	"Libre: Serbisyong Pangkalusugan Tuwing Martes Para sa mga Buntis" (Free Health Services Every Tuesday for Pregnant Women)	Poster	September 1994	Promotion of early & regular pre-natal consultation
9.	"Pumunta sa pinakamalapit na health center para sa libreng prenatal check-up" (Go to the nearest health center for free prenatal check-up)	Sticker	September 1994	Promotion of early & regular pre-natal consultation
10.	1995 Calendar	Calendar	November 1994	Promotion of prenatal care
11.	"Pangangalaga sa Kalusugan ng Ina at Sanggol" (Caring for the health of mother and child)	Handbook	March 1995	Promotion of maternal & child health care

✓

Ⓟ

	TITLE	TYPE OF MATERIAL	DATE PRODUCED	MESSAGE/CONTENT
12.	TV99 Poster	Poster	March 1995	Promotion of the project's film showing activity
13.	"Alamin and Temperatura ng Inyong Pamilya" (Learn about your family's body temperature)	Sticker	July 1995	Instruction on how to read the correct temperature from thermometers
14.	1996 Calendar	Calendar	October 1995	Promotion of health & welfare of mothers & children
15.	HIV/AIDS Flip Chart (for health workers)	Flipchart	1995	What is HIV/AIDS, its mode of transmission, detection, treatment & prevention
16.	HealthLine (Issues 1 & 2)	Magazine	March 1996	Public health information & issues